

リスクコミュニケーション関連の環境省取組事例

令和7年12月18日
環境省 大臣官房 環境保健部 化学物質安全課

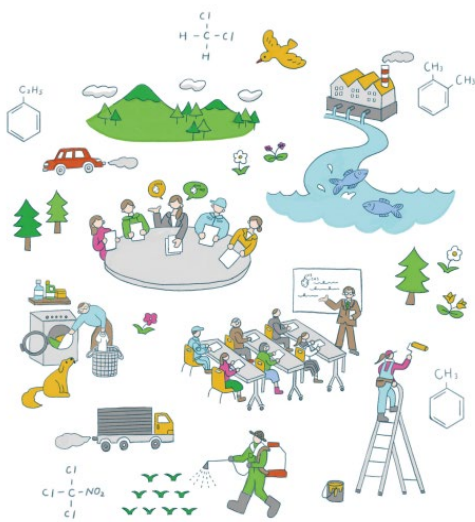


環境省取組事例紹介Ⅰ：化学物質アドバイザー制度

- 化学物質に関する専門知識や説明能力等を有する方が、市民や事業者、行政を対象に中立的な立場で環境リスクに関する情報提供やアドバイスを行うもの。
- 資格制度ではなく、「化学物質」「環境リスク」「環境関連法規」及び「リスクコミュニケーション」に関する知識とスキルが一定レベル以上であることを認定し派遣する制度。
- 登録数は35人、派遣数は年間27件（NPO法人や公益法人、行政・自治体、企業・業界団体に派遣）※令和6年度実績（2024.4～2025.2時点）

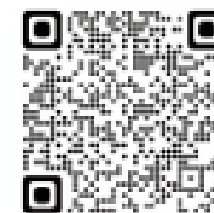
化学物質について
知りたい・学びたいみなさまへ

化学物質アドバイザーが
お手伝いします



環境省 大臣官房 環境保健部 化学物質安全課

2024年4月



相談・派遣のお申し込み
化学物質アドバイザー派遣事務局

化学物質アドバイザーの活用場面

化学物質アドバイザーは下記のような際に利用できます。

- リスクコミュニケーションに参加して、化学物質の解説をしてほしい。
- 社内件研修で化学物質管理のレクチャーをしてほしい。
- 化学物質に関する法規制や最新の知見を紹介してほしい。
- 工場からの排ガスや排水中の化学物質について知りたい
- 暮らしの中の化学物質について勉強したい。

※近年はリスクコミュニケーションや化学物質管理（化審法をはじめとする関係法令の法改正に伴う変更点や、災害時を想定した化学物質管理）が多くなっています。

1

リスクコミュニケーションの場で
皆様の疑問に答える



2

化学物質に関する
勉強会や講演会の講師をする



事業者向け研修会（令和4年度 埼玉県）

～リスクコミュニケーション（ロールプレイ）や演習におけるアドバイス等～

埼玉県内で化学物質を取り扱う事業者を対象に、①リスクコミュニケーションとは ②リスクコミュニケーションとSDGsや防災との関係 ③コロナ禍における地域対話のあり方について学び、グループ演習やロールプレイを通して、コミュニケーションのノウハウを習得する研修会でした。

化学物質アドバイザーは、グループ演習において各グループを巡ってディスカッションがスムーズに行われるようアドバイスを行い、ディスカッションの結果発表の際は、講師とともに、コミュニケーション時によくある質問や対応方法等について、事例紹介を交えた説明や、助言、指導等を行いました。

参加者の声

- グループ演習は初めてで戸惑ったが、配布された用紙への記載方法のアドバイスをいただけたので、スムーズに進めることができた。
- 参加者の発言を再度確認の上、違った視点でのとらえ方や説明を加えていただき、ディスカッションの内容が深まった。



グループ演習でのディスカッションの結果発表



アドバイザーの助言の様子

アドバイザー制度利用促進キャンペーン

- 対象期間 令和7年2月1日～28日（1か月間）
- 実施概要
派遣
対象期間中に開催される行事の派遣申請がなされた場合、アドバイザー費用を無料とする。（アドバイザーの交通費・謝金は環境省にて負担する）
- 適用団体 10件

・ 令和6年度派遣件数 27件（昨年度11件と比較し、2倍以上の件数に増加）

依頼者分類：	地方公共団体	11
	事業者・事業者団体	12
	教育機関・NPO	4
開催内容：	事業者の社内勉強会	10
	事業者向けセミナー	10
	教職員・法人職員・専門家集団向けセミナー	4
	高校生向けリスクコミュニケーションの勉強会	1
	リスクコミュニケーションのインタープリター	2
役割別：	講師	25、
	インタープリター	2

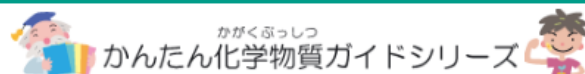
・アドバイザー制度利用促進キャンペーン適用団体は、上記のうち10件

依頼者分類：	地方公共団体	2、	事業者	8
開催内容：	事業者向けセミナー	2、	事業者の社内勉強会	8
役割別：	講師	10		

※上記の他に、キャンペーンに関するお問合せフォーム12件受領。



環境省取組事例紹介Ⅱ：かんたん化学物質ガイドシリーズ



わたしたちが日ごろ使っている製品は、化学物質のさまざまな性質を利用して作られていることを知っていますか？化学物質はわたしたちの生活を豊かにし、健康で快適な日々の生活に欠かせません。その一方で、使い方をまちがえると、環境を経由してわたしたちの健康や動植物に悪い影響をあたえてしまうおそれ（環境リスク）もあるのです。

「かんたん化学物質ガイド」シリーズは、わたしたちの毎日の暮らしに役立っている化学物質と環境リスクについて、楽しく学べるパンフレットです。たろうくんとさくらさんの身近な疑問に、パウル博士がわかりやすく答えてくれます。サイズはA5版で約20ページあります。さっそくダウンロードして読んでみましょう。



(URLリンク)

<https://www.env.go.jp/chemi/communication/guide/index.html>



[「洗剤と化学物質」ダウンロードページへ \(2023年改訂\)](#)

どうして洗剤を使うと汚れが落ちるのでしょうか？洗剤は環境や健康に影響はないのでしょうか？ふだん何気なく使っている洗剤についていっしょに考えてみましょう。

- Q1. 洗剤を使うと、どうして汚れが落ちるの？
- Q2. 洗剤が環境へ流れ出ても、心配ないの？
- Q3. 洗剤は、健康に悪い影響はないの？
- Q4. 洗剤を上手に使うには、どうすればいいの？



[「わたしたちの生活と化学物質」ダウンロードページへ \(2023年改訂\)](#)

化学物質とは、そもそも何のことなのでしょう。わたしたちの身近な化学物質の便利な性質と、環境リスクの基本的な考え方を学びます。

- Q1. 化学物質ってなに？
- Q2. どんな性質があるの？
- Q3. ヒトや動植物にどんな影響があるの？
- Q4. 上手につきあうにはどうしたらいいの？



[「殺虫剤と化学物質」ダウンロードページへ \(2023年改訂\)](#)

殺虫剤にはどんな種類があって、どんな役に立っているのでしょうか。また、害虫以外の動植物や人には影響はないのでしょうか。そんな疑問について考えながら、上手な殺虫剤の使い方について学びます。

- Q1. 殺虫剤って、どんなもの？
- Q2. 使われた殺虫剤は、環境中ではどうなるの？
- Q3. 殺虫剤は、人や動植物に影響はないの？
- Q4. 殺虫剤を上手に使うには、どうすればいいの？



[「乗り物と化学物質」ダウンロードページへ \(2023年改訂\)](#)

乗り物に関係がある化学物質について学びます。作るとき、乗るとき、処分するとき、どんな化学物質が関わっているのでしょうか。

- Q1. 乗り物は化学物質で作られているって、ホント？
- Q2. 乗り物を動かすときには、どんな化学物質が使われているの？環境に出てくるものもあるの？
- Q3. 乗り物を上手に利用するにはどうしたらいいの？
- Q4. 使わなくなった乗り物を処分するとき、どんな化学物質が出てくるの？



[「塗料・接着剤と化学物質」ダウンロードページへ](#)

2008年発行版

どうして塗料の色は落ちなくなるのでしょうか？また、どうして接着剤を使うとモノとモノがくっつくのでしょうか？わたしたちの身のまわりにある塗料や接着剤についていっしょに考えてみましょう。

- Q1. 塗料や接着剤って、どんなもの？
- Q2. 塗料や接着剤って、いったい何からできているの？
- Q3. 塗料や接着剤にふくまれている化学物質は、人や動植物に影響はないの？
- Q4. 塗料や接着剤を上手に使うには、どうしたらいいの？

改訂中

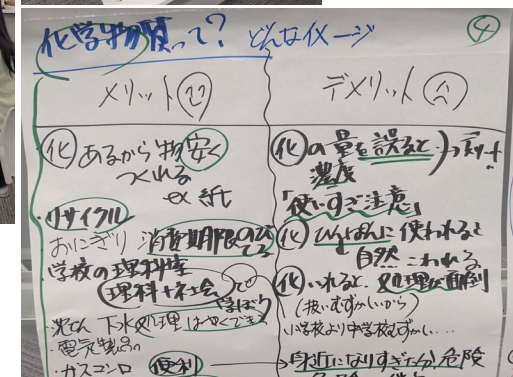
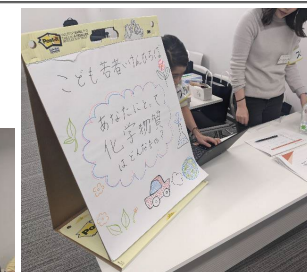
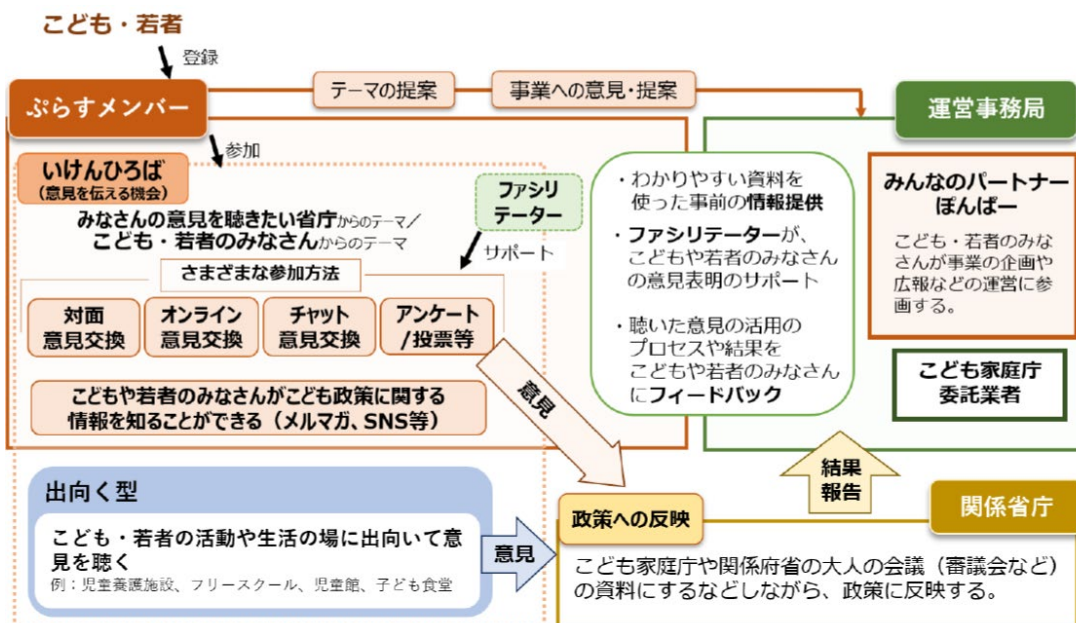
環境省取組事例紹介Ⅲ：こども若者★いけんぷらす

- こども家庭庁のこども・若者意見反映推進事業（通称「こども若者★いけんぷらす」）と連携し、「あなたにとって化学物質はどんなもの？～環境問題と化学物質について考える～」というテーマで、20代以下のこども若者に対してアンケート及び対面での意見聴取を実施した（令和6年11～12月）。

- 実施結果はこども家庭庁HPで公表（URLリンク）
<https://ikenplus.cfa.go.jp/announcements/1veyhm1yq3vys6pi>

開催概要

テーマ	あなたにとって化学物質はどんなもの？～環境問題と化学物質について考える～
担当省庁	環境省
テーマ説明	化学物質やそれを使った製品は、わたしたちの日常生活にとっても身近で便利な存在です。しかし、使い方次第ではわたしたちの健康や生活環境・自然環境に悪い影響を与えてしまうものもあります。そのため、つくる人、つかう人といった立場の異なる人どうしが化学物質に関する正確な情報を共有しながら、お互いにコミュニケーションを取ることが、安全で安心な社会をつくるために重要です。 化学物質に関する情報発信や化学物質そのものについて、みなさんの考えていることや感じていることをお聞きすることで、よりよい情報発信の方法やよりよい化学物質に関する政策につなげていきたいと考えています。
参加対象者	【アンケート】「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、小学4年生以上の方 【対面】「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、高校生年代以上の方
開催日時・参加者数	【アンケート】 <ul style="list-style-type: none"> 開催日時：令和6年11月18日（月）～12月11日（水） 回答件数：88件 【対面】 <ul style="list-style-type: none"> 開催日時：令和6年12月14日（土）14:00～16:00 参加者数：18人（1班…高校生年代5名、2班…高校生年代4名、3班…大学・大学院生年代5名、4班…社会人年代4名）



2. 現在、環境省が行っている取組について

こどもまんなか
こども家庭庁

「かんたん化学物質ガイド」について

※かんたん化学物質ガイド

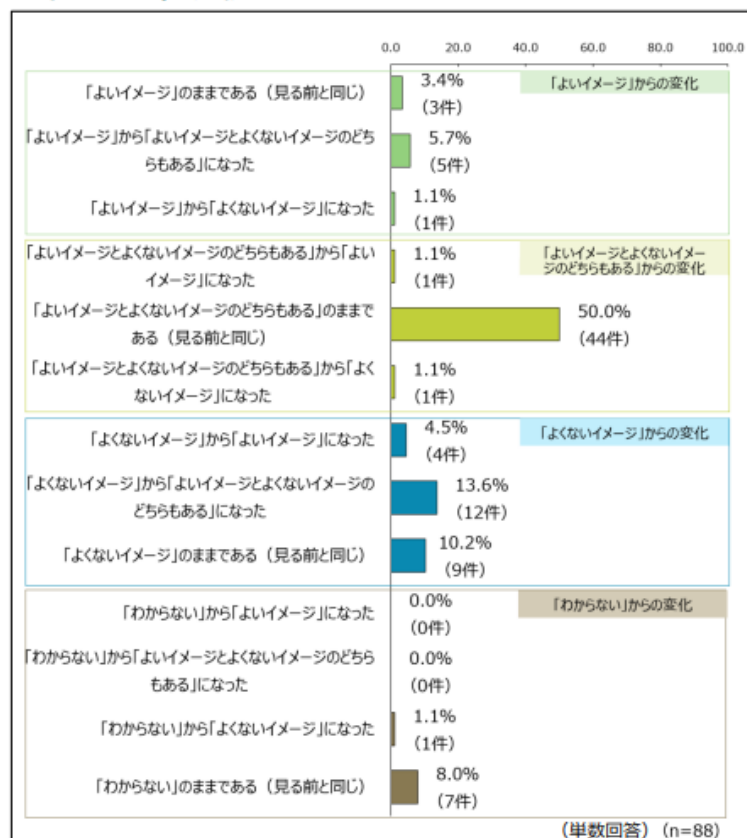
化学物質について小学校高学年以上向けに解説したパンフレット

<https://www.env.go.jp/chemi/communication/guide/index.html>

アンケート

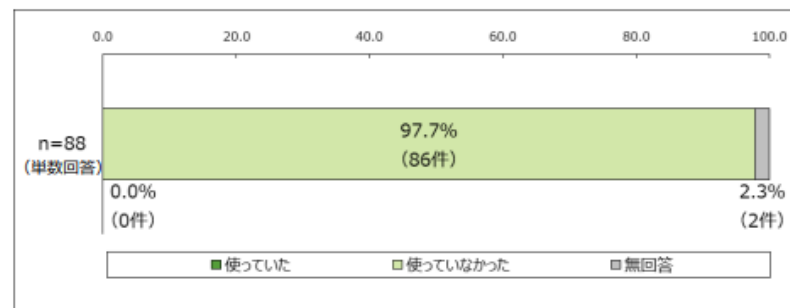
「かんたん化学物質ガイド」を見て、化学物質や、化学物質に関する環境問題のイメージはどのように変わりましたか。

- 「よいイメージとよくないイメージのどちらもある（見る前と同じ）」（50.0%）が最も多く、次に「よいイメージ」から「よいイメージとよくないイメージのどちらもある」になった」（13.6%）が続きました。



「かんたん化学物質ガイド」を学校の授業で使っていましたか。

- 「使っていなかった」（97.7%）が最も多く、次に「無回答」（2.3%）が続きました。



2. 現在、環境省が行っている取組について

こどもみんな
こども家庭庁

「かんたん化学物質ガイド」について

アンケート・対面共通

「かんたん化学物質ガイド」のホームページはどうしたらもっとわかりやすくなったり、みんなが見たりするようになると思いますか。

【仕様・レイアウトについて】

(ホームページについて)

- 文字が多くインパクトがないので、色を変え文字を少なくするといひ。
- PDFをダウンロードしなければ見られない仕様は確認しにくい。PDFは必要だとは思ひが画面だけで内容が確認できるようにしてほしい。
- 「ダウンロードページへ」とあるが、アクセスする人は内容の確認がしたいので「詳細」か資料タイトルをボタンにしてクリックの方が分かりやすい。

(パンフレットについて)

- 挿絵が分散している。どの絵がどの文章を指しているかわかりにくい。文字のところに絵を入れず、視線がまっすぐ移動できるようにしてほしい。
- 小学生向けにはなるべくイラストで図示し、文字を減らした方がよい。
- 小学校低学年はポスター、小学校高学年は敬語で冊子にするなど、色々な方向を考えてもいい。
- スマートフォンで縦にスクロールできる形式の方が見やすい。

【形式について】

- 「酸素ちゃん」といったキャラクターを作るのはどうか。
- アプリケーションにして、クイズ形式にしたらよいと思う。
- 動画を使った学習の方がこどもたちはより集中し理解も深まると思う。そのため、ガイドブックに沿ったアニメなどの動画教材があるとよい。
- 多くの人に興味を持ってもらうなら、アニメのキャラクターなどとコラボしたものが作れると小学生も興味を持って読むのでは。



【掲載内容について】

- このガイドを教員がどう使用するかで捉え方が変わってくる。授業で使用する場合、モデルとなる授業構成をしっかりと作つた方がよい。
- 環境への影響についての説明が不十分であると思う。「環境にでしてしまう」「環境リスク」などの文言が散見されるが、その具体的意味が曖昧に思われる。
- 化学物質についてしっかりと知ってほしいのであればこれくらいの情報量でよいが、「化学物質ってなに？」というところから知ってほしいのであれば情報量は減らし、自分で調べるように促すのがよいと思う。

【広報について】

(学校を通じた広報)

- 教育機関と連携して学校に直接提示した方がよいと思う。
- 中学校には朝読書の時間があるので、読むものがないときに学校に置いてあったら読むと思う。
- 理科の教科書に二次元コードを載せて読み込んでもらったらよい。
- 先生が知らないとこどもにも届かない。先生もかんたん化学物質ガイドがあることを知るようにできるとよい。

(その他)

- 小中高生は親から情報を得ることが多いので、親世代に訴えかけるとよい。
- サイトだけでなくSNSでもっと興味を持ってもらうようにしたり、イベントを開催したりして、広げていくことが大事だと思います。



2. 現在、環境省が行っている取組について

こどもまんなか
こども家庭庁

「かんたん化学物質ガイド」について

アンケート

環境省の環境リスクコミュニケーションのホームページは、どうしたらもっとわかりやすくなったり、みんなが見たりするようになると思いますか。

【レイアウトについて】

- パソコンで見ると画面が小さくなってしまい、見にくかったです。
- サイトの作りが古く今のモニターサイズにあっていないうえ、スマートフォン(モバイル画面)への最適化がされておらず見づらい。
- 環境省のホームページはすごく見やすいのに、このページはパソコン向けなのか、スマホだと文字のサイズや配置がおかしくなるし、配色も色が多すぎて逆に見にくい。
- サイトの見た目が古めかしく親しみがないデザインに思える。
- 画面遷移後、元のメニューへ戻るボタンが無い(スマホから見ている)。

【その他】

- 環境省のHPからアクセスしづらい。
- こども用メニューがこどもというより指導者用に見える。エコプラントとすぐろくは指導者用の枠で示した方がいいのではないかな。
- どのような人が自発的に見る機会が生まれるのかあまり想像がつかない(教育現場などで使用されるのでしょうか?)

2. 現在、環境省が行っている取組について

こどもまんなか
こども家庭庁

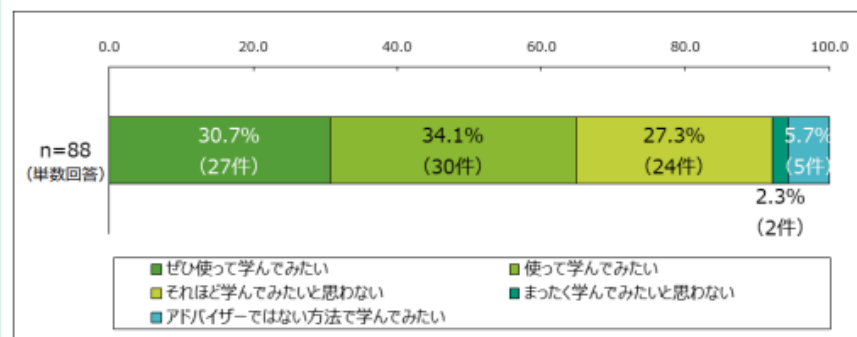
化学物質アドバイザー制度について

※化学物質アドバイザー制度：
化学物質についてみなさんの「知りたい」「学びたい」を助ける人材を派遣する制度

アンケート

環境省の化学物質アドバイザー制度をつかって化学物質と環境のことを学んでみたいと思いますか。

- 「使って学んでみたい」(34.1%) が最も多く、次に「ぜひ使って学んでみたい」(30.7%) が続きました。



【学んでみたい内容】

- 化学物質について正しい知識を身に付けたい。
- 日本と海外の化学物質を使っている国では、環境へどんな影響があるのか、またその現状を知りたい。

【「ぜひ使って学んでみたい」と回答した理由】

- 学校の先生が知らないような、マニアックなことも教えてもらえそう。
- プラスチック問題を含む環境問題を良くしたいし、体を守りたいから。
- 学校の先生より、専門の先生の方が分かりやすく教えてもらえそう。

前問の理由や学んでみたい内容を教えてください。

【「使って学んでみたい」と回答した理由】

- 教える人にはある程度の専門性が求められるため、アドバイザー制度を利用した方が良い。
- 高校、大学で文系に進むと化学物質についてあいまいな知識を持ったまま、または誤った偏見を持ったままになってしまうから。
- 学校の化学の勉強だと、化学式と向き合っているだけで化学を勉強する意義があまり見いだせていないので、アドバイザーの方から化学について興味を持てるような講演をしていただきたい。

【「それほど学んでみたいと思わない」と回答した理由】

- 化学物質アドバイザー制度を見るだけでは効果的な気がしない。
- 環境問題に正直そこまでの興味を持っていないから。
- ニュースやSNSの情報の方が目につくため、アドバイザーが派遣されても自分自身の考えはあまり変わらないと思うから。

【「アドバイザーではない方法で学んでみたい」と回答した方】

- 自ら調べ、訪れ、観て学ぶ方が積極的な学習につながると思う。
- アドバイザーと聞くと、話しが長いや専門的などのイメージがある。ファシリテーターと一緒に取り組む講話をしたい。



2. 現在、環境省が行っている取組について

こどもみんな
こども家庭庁

化学物質アドバイザー制度について

対面

化学物質アドバイザー制度について、
良い点、こうした方がよいと思う点などを教えてください。

【良い点】

- ・ 予想していたより**利用料金が安かった**。
- ・ 個人が活用するのは難しそうだが、**企業による環境対策を示す際に役立ちそう**である。
- ・ 下水の処理に関するニュースなどは直接説明があった方が良いので、**変なニュースに流されないためには化学物質アドバイザーがいて説明してもらえるのは良さそう**である。
- ・ 学校現場ではコミュニティスクールにしていこうということが言われているので、**地域に化学物質アドバイザーを招いて、小学校5～6年生と実験をしているときにかみ砕いた説明をもらい学べるのは良さそう**。



【こうした方がよいと思う点】

(制度の知名度向上)

- ・ まず知ってもらうための**周知が必要**だと思う。
- ・ 化学物質アドバイザーが来てくれて「大丈夫」と言われたとしても、**化学物質アドバイザー制度自体を知らない**ので、説明されても信用にもつながらないかもしれない。



(アドバイザーの人員拡充)

- ・ 化学物質アドバイザーがいるかは地域によって違う。**自分が住んでいる地域にはいないので、ばらつきがありそう**。
- ・ アドバイザーの人数が**思ったよりも少なかった**。各都道府県に1人は配置するなど、**もう少し増やしても良いのかな**と思う。
- ・ 化学物質アドバイザーになりたい人に向けて、**どのような手続きを踏むのか、アドバイザーになるとどんなメリットがあるのかも伝えることで、人数を増やせるのではないか**。

(その他)

- ・ 研修会は硬い感じがする。**芸能人とアドバイザーが一緒に来て、会場を盛り上げながら進行してくれたら良い**。

2. 現在、環境省が行っている取組について

こどもまんが
こども家庭庁

「化学物質と環境に関する政策対話」について

※化学物質と環境に関する政策対話：
市民、事業者の代表などのみなさんと、化学物質に関する意見交換などをする場

対面

「化学物質と環境に関する政策対話」について、
良い点、こうした方がよいと思う点などを教えてください。

【こうした方がよいと思う点】

(議事録について)

- ・ 議事録は長いと読めないの、簡潔にしてくれた方がよい。
- ・ 今は開催日時がタイトルとなって公開されているが、開催日程だけでなく話されたテーマもホームページに掲載してもらえれば見ようと思える。
- ・ とても難しく、今何が議論されているかが分からなかった。議事録をさかのぼると分かるのかもしれないが、直近の議事録だけでは理解できなかった。



(こども・若者の参画について)

- ・ 委員の中に若者を入れるのは難しいか。入れてもらえるといい。
- ・ 政策対話に参加する人にも利害関係があるので、話す人の希望や意向が強く表明されると思う。こども・若者には「何も知らないからこそ出る発想」があるので、自由な議論のためにこども・若者をうまく使ってほしいと思う。

(その他)

- ・ 政策対話のテーマ設定は国民から募集することはできるのか。有識者でない方からの疑問も交えて政策対話を行うこともできるのか。
- ・ 議論の結果を国民に周知できる場があれば良いと思う。今回のいけんひろばで、化学物質アドバイザー制度や政策対話制度などを初めて知ったので、もっと周知していくべきだと思う。

【関心を持った】

- ・ 議事次第を見て、調べてみたいと思った。
- ・ 参加してみたい。政策決定に関与することはないと思っていたけれど、意外と自分たち民間人の意見を吸い上げる場があるのだと知った。



2. 現在、環境省が行っている取組について

こどもまんなか
こども家庭庁

「化学物質と環境に関する政策対話」について

アンケート

みなさんから、化学物質や環境問題について、ほかの大人や事業者のみなさんに伝えたい意見はありますか。

【環境問題について】

(情報発信について)

- ・ 環境に配慮した取り組みを行っている事業や人々に向けて、どのくらい**成果が出ているのか公表してほしい**です。
- ・ **どのような予防策を講じているのか、わかりやすく提示してほしい**。また、**流出してしまった物質に対しては、どのように解決されていくのか、あまり耳にする機会がないので、対応法についても聞きたい**と思った。
- ・ 環境問題は一部の人が努力したところで大きく変わるわけではないと思う。多くの国民に**環境問題の存在や、私たちができる身近な取り組みを知ってもらい、社会全体で環境問題に取り組む意識が重要**。

(環境保護規制について)

- ・ 国だけでは限界があるので、**企業にも参加義務がある**といいと思う。
- ・ 事業所からの排出に関して、**大気・水・土壌・廃棄物の全てのカテゴリーを網羅する規制が必要**だと思う。
- ・ **環境問題に対する政策を考える時に、海外の政策と比較する**と思いますが、**日本との自然環境の違いや企業努力も考慮に入れてほしい**。
- ・ ヨーロッパのように人の健康を守るという観点からできるだけ**「予防的」な観点を大事にしてほしい**。欧州の規制が強まればサプライチェーンの影響で日本の規制が弱いことがあとなり事業者に悪い影響を与える。

(その他)

- ・ **数十年先の将来のことを具体的に考えて予防策を検討してほしい**。
- ・ 政府は**使い捨てを減らすキャンペーンや、地球にやさしいプラスチック代替素材を普及させる補助**をしてください。

【化学物質について】

- ・ 化学物質について正しい知識をちゃんと大人から教わる機会は少ない。**こども・若者世代に正しい知識をぜひ授業やセミナーなどで教えてほしい**。
- ・ **大人で話し合ったことをこどもへ伝えることをしっかりすること**。自分たちが将来をつくりあげて行く存在だからこそ、知るべきこともある。
- ・ 化学物質について、**根拠のないデマや憶測に正しく対応したり、自分が根拠を持って判断したりするにはどのようなことに目をつけて調べたりすべきか、学校教育の内容と実生活のつながりなさを解消する考え方を**知りたい。
- ・ **化学物質のからだへの影響を正しく明らかに示してほしい**。
- ・ 化学物質を使うこと自体が悪いわけではないため、**適切な使い方をできるように監視の目を働かせてほしい**。



2. 環境省の取組に関していただいた意見と現在の対応状況

こどもまんが
こども家庭庁

環境省の取組に関していただいた意見

- 環境省の「かんたん化学物質ガイド」、「化学物質アドバイザー制度」、「化学物質と環境に関する政策対話」について、たくさんのご意見やご提案をいただきました。
- 皆さまからは、ちょっとした工夫でより良くできそうなアイデアを多くいただきました。特に、「かんたん化学物質ガイド」を授業で使えるようにすることや「政策対話」の進め方に関するご提案は魅力的でした。
- 現在、いただいたご提案をふまえ、「かんたん化学物質ガイド」の内容を見直したり、「化学物質アドバイザー制度」を見直す作業などを進めています。これらは、今年度の終わりがさまで続く予定のため、中間報告として、取組状況をお知らせします。

現在の対応状況

報告資料（皆さまからの提案概要）

かんたん 化学物質 ガイド

- ・ ホームページやパンフレットの見た目のわかりやすさに関する提案
- ・ 授業で使うためのモデル授業づくりに関する意見

化学物質 アドバイザー

- ・ 制度をもっと知ってもらう方法や、関わる人を増やすための提案

政策対話

- ・ 議事録のまとめ方やテーマの見せ方などについての提案
- ・ こどもや若者の参加についての提案
- ・ テーマを広く募集することや、いろいろな人の声を取り入れる対話の提案

皆さまからの提案を踏まえた取組状況

- ・ パンフレットの見直しに向けて7月から検討を開始

- ・ アドバイザー制度の見直しについて、7月から検討を開始

- ・ 2月に行われた政策対話においては、皆さまからいただいた意見を紹介済み
- ・ 本年度第二回の政策対話に向けたリスクコミュニケーションをテーマとする企画の検討